

科目名		消化器内科学演習	
科目責任者	原 田 大	(第3内科学 教授)	
担当者	久 米 恵一郎	(第3内科学 准教授)	
	本 間 雄 一	(第3内科学 講師)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 24 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>細胞の培養、継代、遺伝子導入(transfeciton)、各種薬剤の適切が使用により細胞の様々な現象を調べる手法を身につける。また免疫染色や蛍光色素を用いて細胞の状態を観察する手技を取得する。電子顕微鏡にて細胞ならびに組織の超微形態を観察する能力を養う。細胞を処理して蛋白濃度の測定や蛋白の電気泳動ならびにウエスタンブロットを行う技術を身につける。また肝生検組織を観察して診断ならびに病態を把握する能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 細胞の培養ができる。</li> <li>2) 様々な薬剤を適切な溶媒に溶かし、適切な濃度で使用することができる。</li> <li>3) 細胞を固定して免疫染色を行うことができる。</li> <li>4) 様々な蛍光色素を使用して細胞を観察することができる。</li> <li>5) 細胞を観察した結果を解釈することができる。</li> <li>6) 細胞を処理してウエスタンブロットにより蛋白の発現を検討することができる。</li> <li>7) ウエスタンブロットの結果を解釈して考察することができる。</li> <li>8) 肝生検組織を解釈することができる。</li> <li>9) 電子顕微鏡を使った細胞ならびに組織の観察ができる。</li> </ol>			
● 評価方法	カンファランスでの討論・発表等で評価する。		
● 参考文献	カンファランスの中で必要に応じ紹介する。自分で検索する。		